

ひめしん景況レポート

中小企業景気動向調査 No.193

2023年12月期 調査



<調査要項>

・調査時点	2023年	12月上旬	
・調査対象期間	2023年	10－12月実績	
	2024年	1－3月見通し	
・調査対象企業	当金庫取引先	450社	
	有効回答数	445社	(有効回答率98.8%)
・業種別企業数	製造業	136社、	卸売業 67社
	小売業	93社、	運輸・サービス業 56社
	建設業	66社、	不動産業 27社
・調査方法	営業店調査員による面接聞き取り調査		

この調査では景況判断の基準として、D I (Diffusion Index, 拡散指数)による分析方法を採用しています。
各質問項目で増加(上昇、好転など)が占める構成比と減少(下降、悪化など)が占める構成比との差を時系列的に観察し、景況を判断する方法です。

小さなふれあい、大きなおつきあい

 姫路信用金庫

10 - 12 月の概況

●当金庫取引先の景況感は前期より横這い

当金庫取引先の2023年10-12月期の景況は、業況が「良い」とした企業は全体の14.4%で前期(2023年7-9月期13.0%)から+1.4ポイント、「悪い」は19.6%で前期(同18.2%)から+1.4ポイント。全業種総合の業況判断DIは、前期から横這いの▲5となった。

業種別で見ると、製造業の業況判断DIは、前期▲6から+2ポイントの▲4、非製造業の業況判断DIは、前期▲5から▲1ポイントの▲6となった。

●来期は悪化の見通し

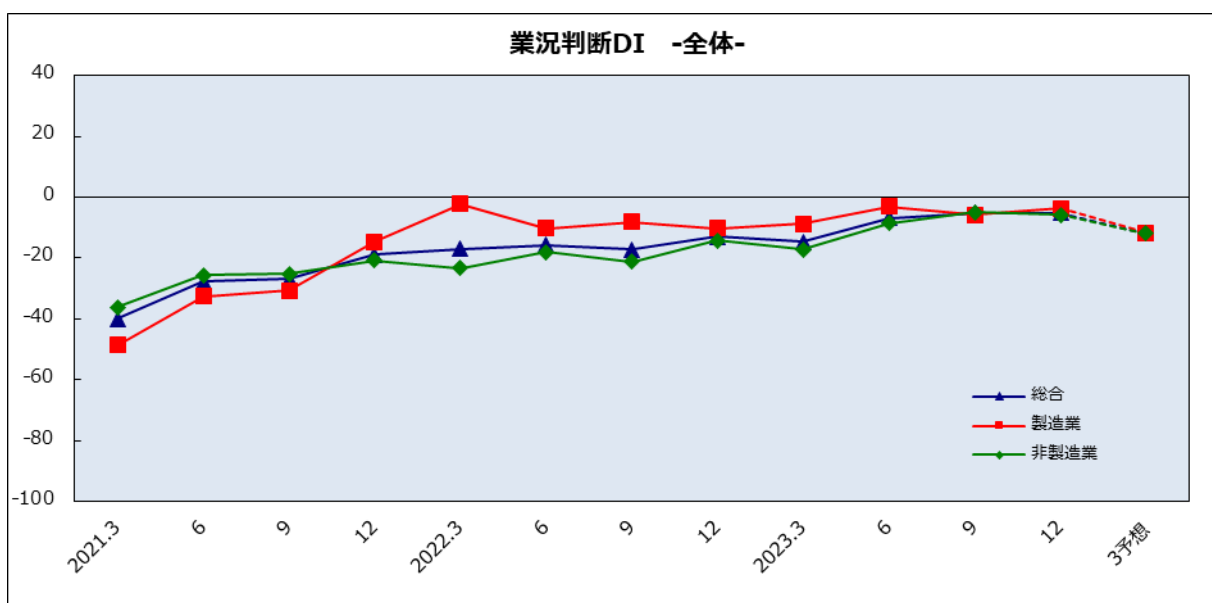
来期(2024年1-3月期)の全業種総合の予想業況判断DIは、今期▲5から▲7ポイントの▲12となる見通しである。

業種別に見ると、製造業の予想業況判断DIは今期▲4から▲8ポイントの▲12、非製造業は今期▲6から▲6ポイントの▲12となる見通しである。

■最近の業況判断DIの推移

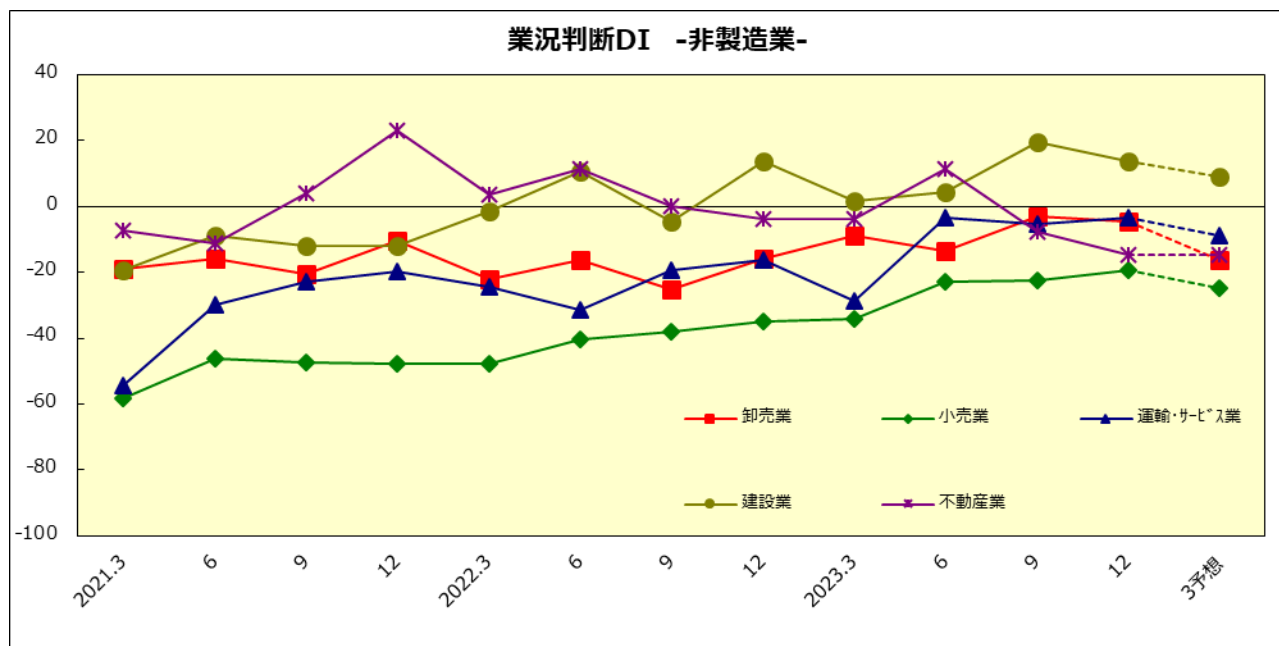
・業況判断DI(総合)

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
総合 (445社)		-13 (↗)	-15 (↘)	-7 (↗)	-5 (↗)	-5 (→)	-12 (↘)
製造業 (136社)		-10 (↘)	-9 (↗)	-3 (↗)	-6 (↘)	-4 (↗)	-12 (↘)
非製造業 (309社)		-14 (↗)	-17 (↘)	-8 (↗)	-5 (↗)	-6 (↘)	-12 (↘)

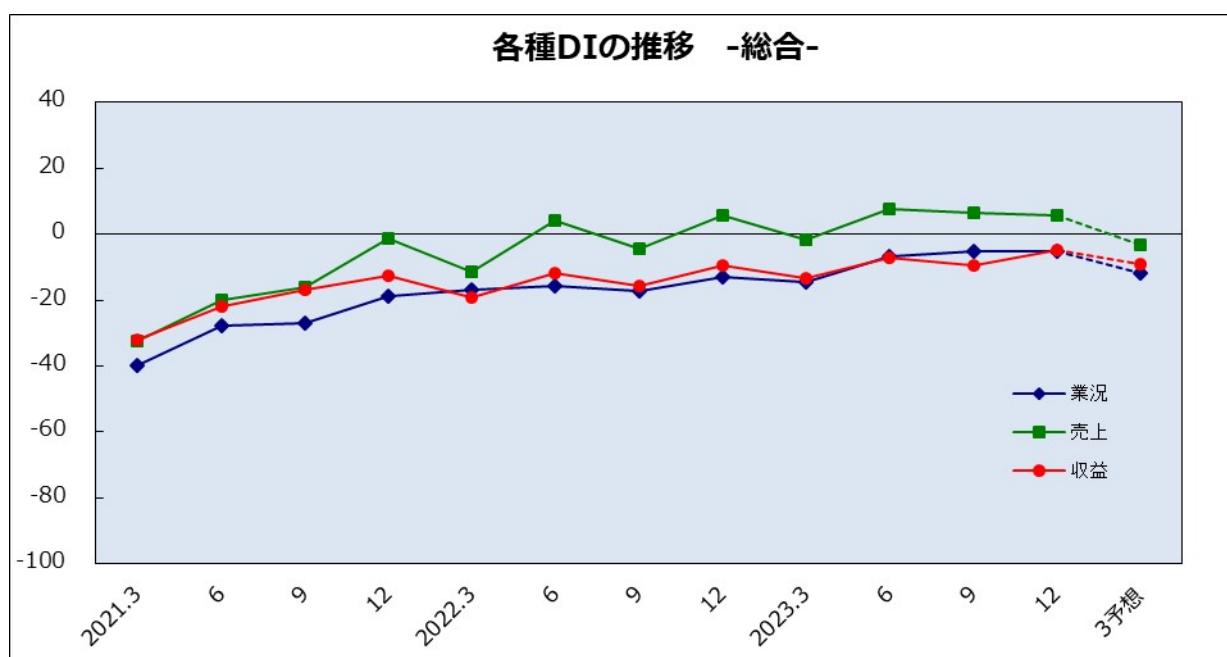


・業況判断 DI（非製造業）

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期（予想）
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
卸売業（67社）		-16（↗）	-9（↗）	-13（↘）	-3（↗）	-4（↘）	-16（↘）
小売業（93社）		-35（↗）	-34（↗）	-23（↗）	-23（→）	-19（↗）	-25（↘）
運輸・サービス業（56社）		-16（↗）	-29（↘）	-4（↗）	-5（↘）	-4（↗）	-9（↘）
建設業（66社）		14（↗）	1（↘）	5（↗）	19（↗）	14（↘）	9（↘）
不動産業（27社）		-4（↘）	-4（→）	12（↗）	-8（↘）	-15（↘）	-15（→）



■業況判断・売上・収益の各種DIの推移



●前期から小幅改善

製造業は、業況が「良い」とした企業は全体の16.9%で前期(14.0%)から+2.9ポイント、「悪い」は20.6%で前期(19.9%)から+0.7ポイント。業況判断DIは前期▲6から+2ポイントの▲4となり、前期から小幅に改善した。

来期は金属製品の1業種で改善、一般機械器具、輸送用機械器具など8業種で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲4から▲8ポイントの▲12と悪化する見通しである。

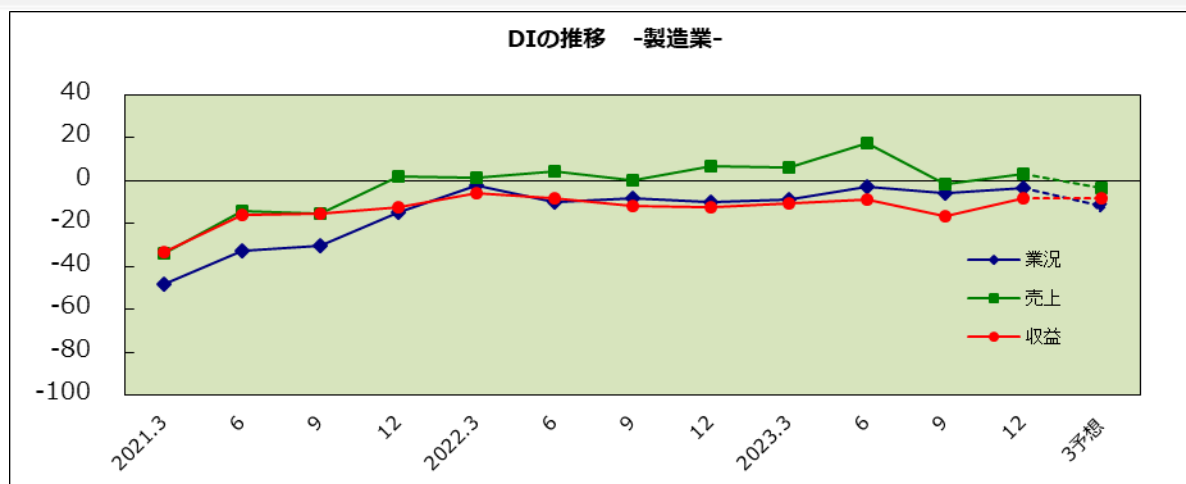
●今期は21業種中、7業種で改善、6業種で悪化

輸送用機械器具、食料品など7業種で改善、金属製品、一般機械器具など6業種で悪化
21業種中…業況改善7業種 / 業況横這8業種 / 業況悪化6業種

主な業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
金属製品 (17社)		-21 (↓)	-17 (↑)	-5 (↑)	-25 (↓)	-41 (↓)	-24 (↑)
一般機械器具 (17社)		0 (↑)	6 (↑)	-6 (↓)	0 (↑)	-6 (↓)	-24 (↓)
輸送用機械器具 (14社)		17 (↑)	0 (↓)	27 (↑)	0 (↓)	18 (↑)	0 (↓)
食料品 (11社)		-7 (↑)	-21 (↓)	-14 (↑)	-14 (→)	-7 (↑)	-29 (↓)
電気機械器具 (8社)		-38 (↓)	-38 (→)	-50 (↓)	-25 (↑)	-25 (→)	-25 (→)
皮革製品 (8社)		13 (↓)	13 (→)	50 (↑)	50 (→)	50 (→)	50 (→)
建築用金属製品 (8社)		-29 (↓)	-14 (↑)	0 (↑)	-29 (↓)	13 (↑)	0 (↓)
プレス・メッキ (7社)		14 (↑)	14 (→)	-29 (↓)	-14 (↑)	-14 (→)	-14 (→)
窯業・土石 (5社)		-20 (↓)	-40 (↓)	-20 (↑)	40 (↑)	40 (→)	20 (↓)
出版・印刷 (5社)		-50 (→)	-17 (↑)	0 (↑)	-33 (↓)	20 (↑)	20 (→)
繊維製品(靴下) (5社)		-20 (↑)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)	-20 (→)

調査員のコメント

- ・受注状況は回復基調となっているが、人員が不足しているため受注機会の損失が発生している。
(一般機械器具)
- ・中国経済の鈍化により来年の世界経済は低調と見込んでおり、新工場建設時期は景気の動向を見て判断したい。
(輸送用機械器具)
- ・補助金活用し新型の検査機を導入したため作業効率の上昇、利益確保の工場も見られ、今後もコスト削減に努めていく方針。
(電気機械器具)



●前期から小幅悪化

卸売業は、業況が「良い」とした企業は全体の11.9%で前期から横這い、「悪い」は16.4%で前期(14.9%)から+1.5ポイント。業況判断DIは前期▲3から▲1ポイントの▲4となり、前期から小幅に悪化した。

来期は飲食料品で改善、機械器具、建築材料で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期▲4から▲12ポイントの▲16と大幅悪化となる見通しである。

●今期は9業種中、2業種で改善、1業種で悪化

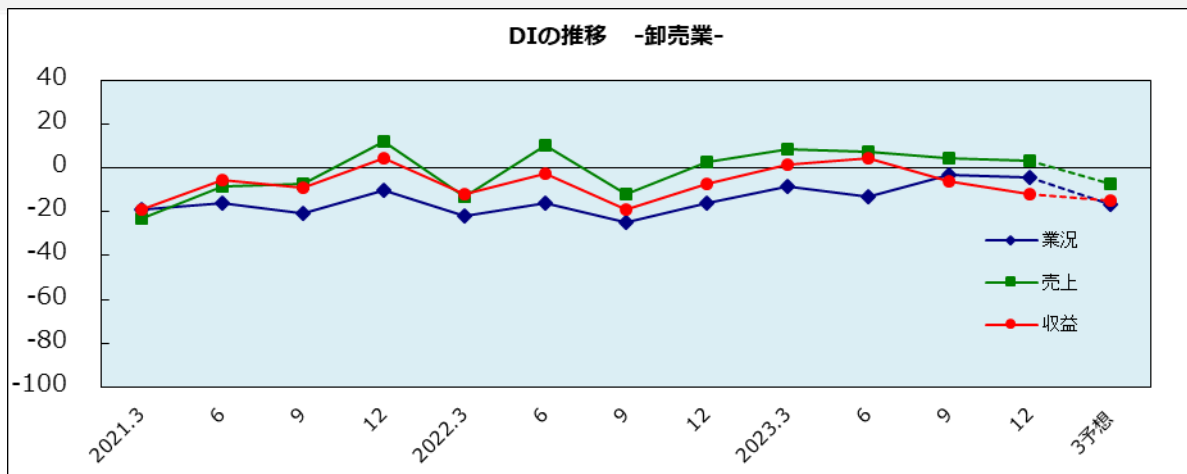
農畜産物・水産物、衣服身回品など2種類で改善、飲食料品で悪化した。

9業種中・・・業況改善2業種 / 業況横這6業種 / 業況悪化1業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
機械器具	(18社)	-21 (↗)	5 (↗)	-11 (↘)	16 (↗)	16 (→)	0 (↘)
建築材料	(10社)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	11 (↗)	11 (→)	-11 (↘)
農畜産物・水産物	(10社)	-27 (↗)	-55 (↘)	-50 (↗)	-40 (↗)	-27 (↗)	-64 (↘)
飲食料品	(9社)	11 (↗)	11 (→)	-22 (↘)	0 (↗)	-29 (↘)	-14 (↗)
金属材料	(6社)	-33 (↘)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
化学製品	(3社)	-33 (↗)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
衣服身回品	(2社)	-33 (↗)	-50 (↘)	-33 (↗)	-50 (↘)	-33 (↗)	-33 (→)
家具建具じゅう器	(2社)	-100 (→)	-100 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
再生資源	(1社)	0 (→)	0 (→)	50 (↗)	0 (↘)	0 (→)	0 (→)
その他	(1社)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	-14 (↘)	-17 (↘)	-17 (→)

調査員のコメント

- ・近年、中国への売上が減少しており、他のアジア圏へ販売をシフトし現状を維持したい。
(化学製品)
- ・菓子が贅沢品の分類にあたり、消費者が購入を控える傾向にあり、売上が伸び悩んでいる。
(機械器具)
- ・仕入価格上昇分を販売価格へ転嫁できたが、光熱費・配送・人件費等の経費分は転嫁できず、
利益率確保が今後の課題。
(農畜産物・水産物)



小 売 業 93 社

●前期から改善

小売業は、業況が「良い」とした企業は全体の 9.7%で前期 (5.4%) から+4.3 ポイント、「悪い」は 29.0%で前期 (28.0%) から+1 ポイント。業況判断 DI は前期 ▲23 から+4 ポイントの ▲19 となり改善した。

来期は衣服身回品の 1 業種で改善、飲食料品、スーパー・コンビニなど 4 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は今期 ▲19 から▲6 ポイントの ▲25 と悪化する見通しである。

●今期は 12 業種中、5 業種で改善、3 業種で悪化

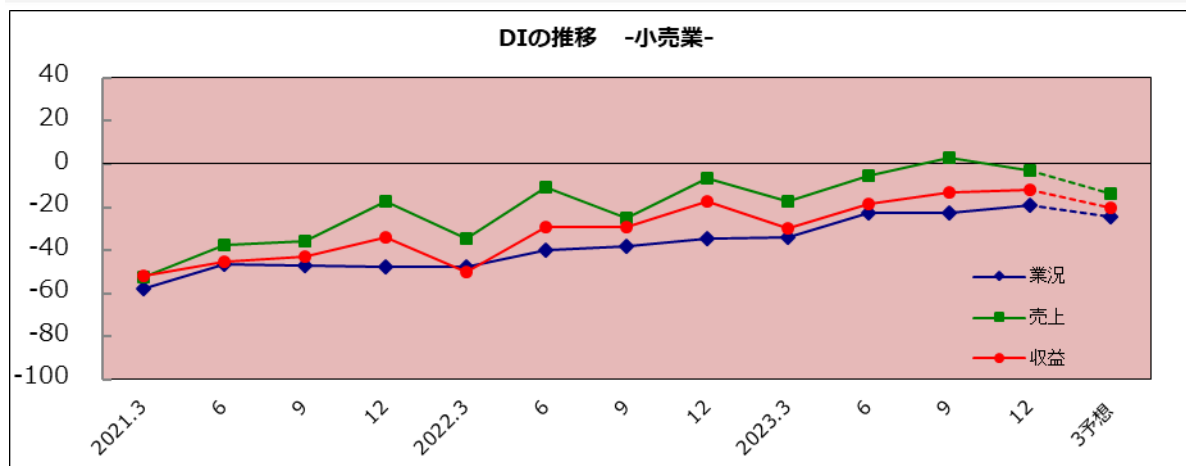
飲食料品、衣服身回品など 5 業種で改善、自動車、家電機器など 3 業種で悪化した。

12 業種中・・・業況改善 5 業種 / 業況横這 4 業種 / 業況悪化 3 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
飲食料品 (24社)		-50 (↓)	-46 (↑)	-33 (↑)	-32 (↑)	-29 (↑)	-33 (↓)
衣服身回品 (16社)		-33 (↑)	-64 (↓)	-47 (↑)	-56 (↓)	-38 (↑)	-31 (↑)
飲食店 (11社)		-45 (↑)	-36 (↑)	-10 (↑)	-9 (↑)	0 (↑)	0 (→)
自動車 (9社)		-50 (↓)	-25 (↑)	0 (↑)	0 (→)	-11 (↓)	-11 (→)
スーパー・コンビニ (9社)		11 (↑)	11 (→)	10 (↓)	0 (↓)	11 (↑)	-22 (↓)
ガソリン (6社)		0 (↓)	40 (↑)	-33 (↓)	-40 (↓)	-17 (↑)	-17 (→)
書籍・文具 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	-33 (↓)	-33 (→)	-33 (→)
家電機器 (3社)		-25 (→)	0 (↑)	-50 (↓)	25 (↑)	0 (↓)	-33 (↓)
医薬品・化粧品 (3社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
時計・眼鏡 (2社)		-50 (↑)	-67 (↓)	-50 (↑)	-50 (→)	-100 (↓)	-100 (→)
娯楽用品 (1社)		-100 (→)	-100 (→)	-50 (↑)	0 (↑)	0 (→)	0 (→)
木材建築材料 (1社)		0 (↑)	-100 (↓)	-100 (→)	0 (↑)	0 (→)	-100 (↓)
その他 (5社)		-75 (↓)	-75 (→)	20 (↑)	0 (↓)	-20 (↓)	-20 (→)

調査員のコメント

- ・観光客の増加に伴い売上増加しておりますが、仕入価格、経費上昇分を販売価格に転嫁すれば顧客離れの可能性があり苦慮している。 (飲食料品)
- ・インバウンドによる売上増加傾向。 (衣服身回品)
- ・中古車市場の値も下がり、徐々に新車市場の活況が戻ってきている。 (自動車)



●前期から小幅改善

運輸・サービス業は、業況が「良い」とした企業は全体の 14.3%で前期(12.3%)から+2.0ポイント、「悪い」は 17.9%で前期(17.5%)から+0.4ポイント。業況判断 DI は前期▲5 から+1ポイントの▲4 となり、前期から小幅に改善した。

来期は運輸業、旅館宿泊所の 2 業種で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期▲4 から▲5ポイントの▲9と悪化する見通しである。

●今期は 7 業種中、2 業種で改善、2 業種で悪化

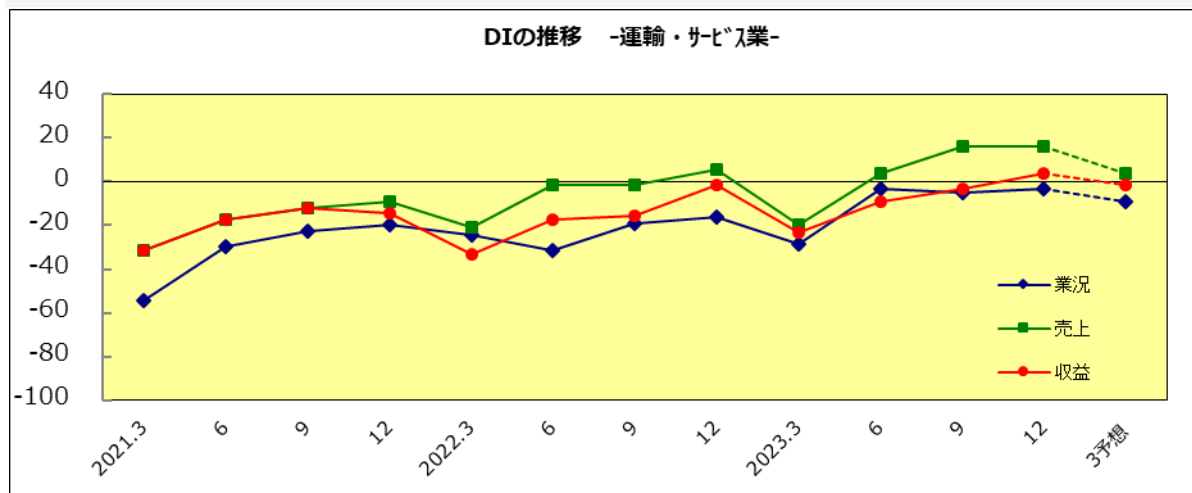
運輸業、情報サービス・調査・広告など 2 業種で改善、自動車整備・駐車場など 2 業種で悪化。

7 業種中・・・業況改善 2 業種 / 業況横這 3 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
運輸業 (14社)		0 (↗)	-15 (↘)	-8 (↗)	0 (↗)	29 (↗)	14 (↘)
自動車整備・駐車場 (9社)		-22 (↗)	-22 (→)	10 (↗)	0 (↘)	-11 (↘)	-11 (→)
クリーニング・理容・美容 (7社)		-29 (→)	-71 (↘)	14 (↗)	29 (↗)	-29 (↘)	-29 (→)
情報サービス・調査・広告 (4社)		-25 (↘)	-100 (↘)	-25 (↗)	-50 (↘)	-25 (↗)	-25 (→)
修理業 (3社)		-100 (→)	-33 (↗)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)	-33 (→)
旅館宿泊所 (2社)		-50 (→)	-50 (→)	0 (↗)	0 (→)	0 (→)	-50 (↘)
物品賃貸 (1社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
その他 (16社)		0 (→)	-19 (↘)	-7 (↗)	-13 (↘)	-6 (↗)	-6 (→)

調査員のコメント

- ・コロナの終息により外国人観光客増加し売上げ回復傾向にありますが、次はライドシェアの問題が課題となると思う。 (運輸業)
- ・リース契約も値上げしており、原契約で終了されるケースも多く販路拡大が急務。 (修理業)
- ・物流関係では大きな仕事は減少傾向にあり、ネット通販が増えて小さなものの運搬等の単価交渉が今後の課題。 (運送業)



●前期から悪化

建設業は、業況が「良い」とした企業は全体の 22.7%で前期 (25.4%) から▲2.7ポイント、「悪い」は 9.1%で前期 (6.0%) から+3.1ポイント。業況判断 DI は前期+19 から▲5ポイントの+14となり、前期から悪化した。

来期は職別工事、設備工事で悪化と予想しており、予想業況判断 DI は、今期+14 から▲5ポイントの+9と悪化する見通しである。

●今期は 3 業種中、1 業種で改善、2 業種で悪化

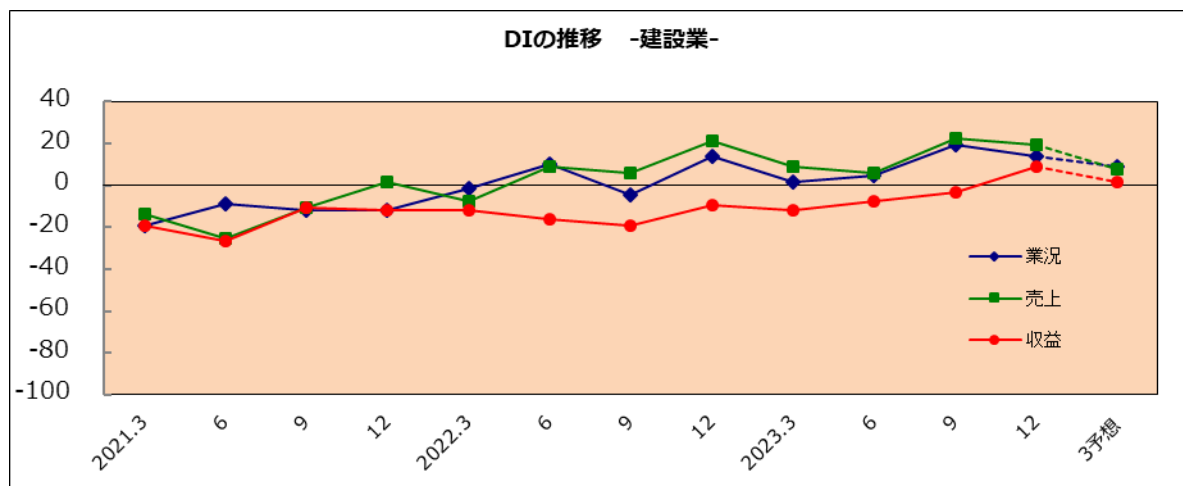
設備工事で改善、総合工事、職別工事で悪化となった。

3 業種中…業況改善 1 業種 / 業況横這 0 業種 / 業況悪化 2 業種

業 種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期 (予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
総合工事 (32社)		3 (↗)	-6 (↘)	-6 (→)	13 (↗)	9 (↘)	9 (→)
職別工事 (19社)		30 (↗)	14 (↘)	20 (↗)	33 (↗)	16 (↘)	11 (↘)
設備工事 (15社)		13 (↗)	0 (↘)	8 (↗)	13 (↗)	20 (↗)	7 (↘)

調査員のコメント

- ・安定した受注確保、特に神戸方面の集合住宅が好調。 (総合工事)
- ・同業大手の M&A により資本力増強しており、今後も動きが激しくなると予想。 (職別工事)
- ・資材の高騰分は工事代金に転嫁しており売り上げは前年比増加、収益面も堅調に推移、現場における人材不足は常態的。 (職別工事)



●前期から悪化

不動産業は、業況が「良い」とした企業は全体の3.7%で前期(7.7%)から▲4.0ポイント、「悪い」は18.5%で前期(15.4%)から+3.1ポイント。業況判断DIは前期▲8から▲7ポイントの▲15となり、前期から悪化した。

来期は建売・土地売買で改善、不動産代理・仲介で悪化と予想しており、予想業況判断DIは今期から横這いの▲15となる見通しである。

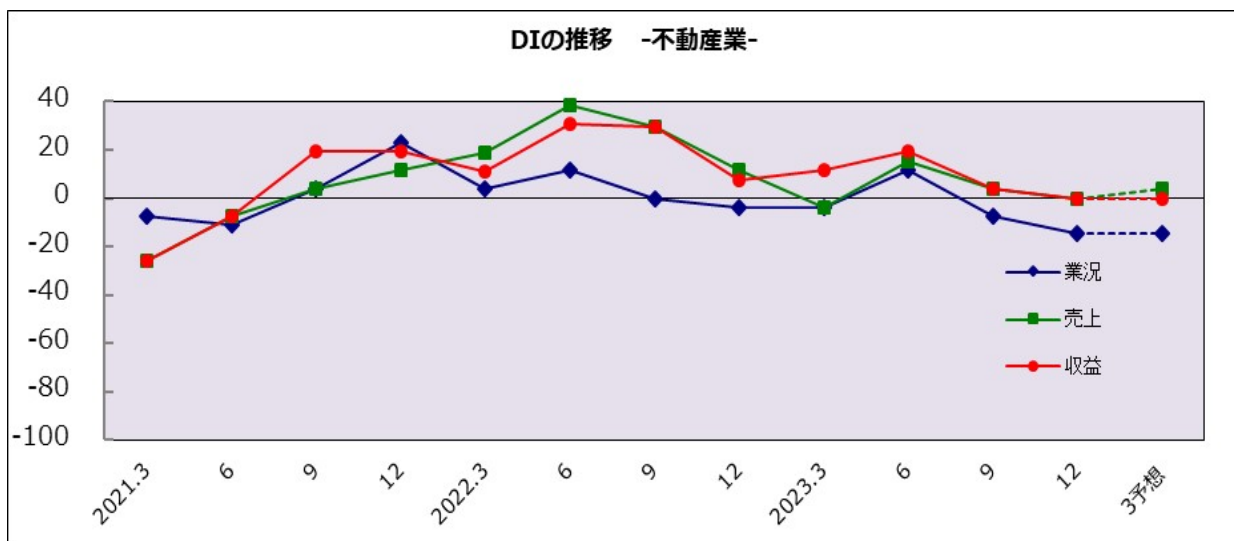
●今期は4業種中、2業種で悪化、2業種で横這い

建売・土地売買、不動産代理・仲介など2業種で悪化、貸事務所・土地賃貸など2業種で横這い
4業種中・・・業況改善0業種 / 業況横這2業種 / 業況悪化2業種

業種	調査時期	4期前	3期前	前々期	前期	今期	来期(予想)
		2022/10-12期	2023/1-3期	2023/4-6期	2023/7-9期	2023/10-12期	2024/1-3期
建売・土地売買 (12社)		0 (↓)	-17 (→)	8 (→)	-8 (↓)	-17 (↓)	-8 (↗)
不動産代理・仲介 (10社)		-11 (→)	11 (→)	13 (→)	-13 (↓)	-20 (↓)	-30 (↓)
貸事務所・土地賃貸 (2社)		-50 (↓)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)
貸家・貸間 (1社)		100 (↗)	0 (→)	100 (→)	0 (↓)	0 (→)	0 (→)
その他 (2社)		0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)	0 (→)

調査員のコメント

- ・造成費のかかる物件が増加、販売価格も上昇傾向。商品土地は好立地物件はかなり減少しており、郊外や市外の物件情報が増えてきている。(建売・土地売買)
- ・インフレにより価格は徐々には上がっていくが、大幅には上がらないと予想。(建売・土地売買)
- ・原材料価格高騰分を価格へ転嫁進めているものの、販売価格上昇により様子見の顧客が多い。(建売・土地売買)



~MEMO~